記者発表一覧

グリーン東大工学部プロジェクトがグリーン IT アワード 2009・審査員特別賞を受賞

2009年10月5日

【報道発表資料】

国立大学法人 東京大学 グリーン東大工学部プロジェクト

グリーン東大工学部プロジェクトがグリーン IT アワード 2009・審査員特別賞を受賞

国立大学法人東京大学(総長:濱田 純一、以下東京大学)のグリーン東大工学部プロジェクト(*1)(代表:江崎 浩、以下グリーン東大)は、2008 年 6 月に発足し、産官学が協力して、地球環境の保全と活動環境の改善を目指すことを目的として、研究開発活動を開始致 しました。発足当初から、「東京大学本郷キャンパス工学部新2号館」を実証実験場として、最先端の省エネ・環境対策技術の統合化と評価を行い、成果をあげ て参りました。(参考資料:プロ ジェクト概要図)

この度、これまでの活動の成果を認められて、グリーン IT 推進協議会(*2)の審査委員会による厳正な審査の結果、グリーン IT アワード 2009(*3)・審査員特別賞を受賞いたしました。

受賞理由は、「大学における研究テーマとして多くの企業を巻き込みながら問題分析を行っており、その成果は多くの企業が共有し広く活用されることが期待 される」、「この研究を通して学生が得た知見により、その学生が社会に巣立つことで、さらなる広がりが見込める」などが挙げられます。

グリーン東大では、今後も、世界各地域との連携による標準化活動などの活動を推進してまいります。

なお、グリーン IT アワード 2009 の受賞に伴い、下記のとおり CEATEC JAPAN 2009 グリーン IT パビリオンにて展示を行います。 CEATEC JAPAN 2009 グリーン IT パビリオングリーン IT アワード 2009 紹介コーナー

日程: 平成 21 年 10 月 6 日(火)~10 日(土)午前 10 時~午後 5 時 場所: 幕張メッセ 展示ホール 5 グリーンITパビリオン 小間番号 6B79

http://www.m-messe.co.jp/access_j.html

(*1) グリーン東大工学部プロジェクト(http://www.gutp.jp/)

国立大学法人東京大学が、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して、2008年6月9日に発足させた。

東京大学本郷地区の工学部新2号館(2005 年竣工 地上 12 階 総合研究教育棟)をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、ITによる省エネとIT環境自身の省エネの両立を実証する。設立発起人(詳細は、「発起人・組織リスト: http://www.gutp.jp/list/」を参照)を中心に、技術規格標準化関連団体、建設会社、建設設計事務所、ハードウエア・ソフトウエアベンダ、インテグレータ、通信事業者などファシリティーの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティーの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいる。

代表は東京大学大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授が務めている。

(*2) グリーンIT推進協議会(http://www.greenit-pc.jp/)

環境保護と経済成長が両立する社会の実現に向けた「グリーンITイニシアティブ」が 経済産業省により提唱され、この具体的な取り組みを推進するため、2008年2月1 日に産学官のパートナーシップによる「グリーンIT推進協議会」が設立された。わが国 の強みである「ものづくり」と「環境・省エネ」の技術力をてこに、経済・社会・国民生 活のあらゆる局面の変革を目指すとともに、更なる「ITの省エネ」と「ITによる省エネ」 の実現に向けて活動を行なう。

(*3) グリーン IT アワード 2009

優れた省エネ効果を持つIT機器、ソフトウエア、サービス、ソリューション等、並びにそれらを活用して優れた省エネ効果を実現した提案等を表彰し、「ITの省エネ」及び「ITによる社会の省エネ」を両輪とする「グリーンIT」の取組みをより一層加速するため、グリーンIT推進協議会が2008年度に「グリーンITアワード」を創設。

<本件に関するお問い合わせ先> グリーン東大工学部プロジェクト 代表 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

グリーン東大工学部プロジェクト事務局 〒100-8141 東京都千代田区大手町 2-3-6 株式会社三菱総合研究所 社会システム研究本部情報通信政策研究グループ

URL: http://www.gutp.jp/